

外部分析

1. 泉州二次医療圏の概要

大阪府には8つの医療圏が設定されており、本院はそのうち高石市以南の8市4町で構成する泉州二次医療圏に属しています。この医療圏は、府南部に位置し、総面積444.73km²を有する総人口910,744人、人口密度2,048人/km²の医療圏であり、府内で4番目に人口が多い大都市圏です。

(表1) 府内の二次医療圏

二次医療圏名	人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
豊能二次医療圏	1,029,975	275.61	3,737
三島二次医療圏	748,497	213.46	3,506
北河内二次医療圏	1,169,572	177.34	6,595
中河内二次医療圏	846,049	128.83	6,567
南河内二次医療圏	619,508	290	2,136
堺市二次医療圏	840,016	149.81	5,607
泉州二次医療圏	910,744	444.73	2,048
大阪市二次医療圏	2,686,246	225.21	11,928
大阪府全域	8,850,607	1,904.99	4,646

(表2) 泉州二次医療圏の概要

		人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
泉州 二次 医療 圏 (8 市 4 町)	岸和田市	196,586	72.55	2,710
	泉大津市	76,137	14.31	5,321
	貝塚市	89,735	43.93	2,043
	泉佐野市	99,447	56.51	1,760
	和泉市	185,650	84.98	2,185
	高石市	57,746	11.29	5,115
	泉南市	62,974	48.98	1,286
	阪南市	55,318	36.17	1,529
	忠岡町	17,603	3.97	4,434
	熊取町	44,758	17.24	2,596
	田尻町	8,522	5.62	1,516
	岬町	16,268	49.18	331
計		910,744	444.73	2,048

出典 面積：国土地理院（平成26年10月1日現在）

将来人口・人口密度：大阪府統計課（平成26年10月1日現在）

2. 高齢化と推計人口

わが国の平均寿命は平成26年度の簡易生命表によると、男性80.50年、女性86.83年となっており、「団塊の世代（昭和22年～昭和24年生まれ）」が75歳以上となる平成37年（2025年）には、更なる高齢化が予想されています。

高齢化率を見ると、平成37年の高齢化率は、泉州二次医療圏においては28.1%、岸和田市でも27.9%になると予測されています。その一方で、総人口は男女ともに減少していくと見込まれており、平成37年（2025年）には、泉州二次医療圏で880,500人、岸和田市で185,439人になると予測されています。

（表3）高齢化率

	高齢化率（65歳以上）	
	平成22年	平成37年
岸和田市	22.10%	27.90%
泉大津市	19.90%	26.40%
貝塚市	21.60%	27.00%
泉佐野市	21.60%	26.60%
和泉市	19.40%	27.20%
高石市	22.60%	29.30%
泉南市	22.60%	29.00%
阪南市	22.50%	32.90%
忠岡町	23.40%	27.90%
熊取町	20.30%	29.70%
田尻町	21.50%	23.30%
岬町	30.60%	39.00%
計	21.40%	28.10%

出典 高齢化率：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成25年3月推計）

（表4）泉州地域における推計人口

（人）

泉州二次医療圏	性別	年	0～14歳	15～64歳	65～74歳	75歳以上	合計
泉州二次医療圏	男性	2010年	72,222	286,096	52,996	31,920	443,237
		2025年	53,796	261,704	45,568	57,675	418,743
		2040年	44,842	217,056	57,864	54,932	374,694
	女性	2010年	69,064	297,414	59,115	53,686	479,281
		2025年	51,054	266,882	53,199	90,622	461,757
		2040年	42,557	215,680	66,664	92,601	417,502
	男女計	2010年	141,289	583,512	112,109	85,610	922,581
		2025年	104,850	528,586	98,767	148,297	880,500
		2040年	87,399	432,736	124,528	147,533	792,196
岸和田市	男性	2010年	15,467	61,477	11,609	7,177	95,730
		2025年	11,318	55,356	9,604	11,842	88,120
		2040年	9,349	45,297	11,874	10,931	77,451
	女性	2010年	14,575	63,771	13,062	12,096	103,504
		2025年	10,701	56,391	11,206	19,021	97,319
		2040年	8,840	44,887	13,754	18,868	86,349
	男女計	2010年	30,041	125,248	24,671	19,274	199,234
		2025年	22,019	111,747	20,810	30,863	185,439
		2040年	18,189	90,184	25,628	29,799	163,800

出典 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

3. 医療機関の状況

泉州二次医療圏には76箇所の病院が存在し、総病床数は14,785床となっています。そのうち、岸和田市には17の病院があり、3,268床を有しています。病院の規模としては本院の400床が最大であり、一般病床を500床以上有する大規模病院が存在していないという特徴があります。

診療所は医療圏内に675箇所存在し、そのうちの有床診療所27箇所に287床を有しています。

また、救急告示医療機関は、二次救急告示医療機関が30施設、二次・三次救急告示医療機関が2施設あります。

(表5) 泉州構想区域における医療機関数

	病院数	総病床数 (床)	内 訳					一般 診療所数	うち有床診療所		歯科 診療所数
			一般	療養	精神	結核	感染症		診療所数	病床数(床)	
岸和田市	17	3,268	1,259	1,029	980	0	0	147	2	26	106
泉大津市	4	429	321	108	0	0	0	68	1	5	48
貝塚市	9	2,460	354	217	1,889	0	0	60	3	30	35
泉佐野市	12	1,561	705	504	342	0	10	88	3	23	49
和泉市	14	3,037	1,279	793	965	0	0	116	5	46	92
高石市	5	1,093	173	184	736	0	0	52	2	26	35
泉南市	7	1,173	248	343	582	0	0	36	3	39	22
阪南市	3	386	250	136	0	0	0	40	5	69	28
忠岡町	1	47	0	47	0	0	0	14	2	20	10
熊取町	2	990	148	202	640	0	0	36	1	3	16
田尻町	1	40	40	0	0	0	0	9	—	—	5
岬町	1	301	0	301	0	0	0	9	—	—	4
合 計	76	14,785	4,777	3,864	6,134	0	10	675	27	287	450

出典 平成27年3月31日現在 大阪府健康医療部資料

4. 病床機能区分ごとの医療需要推計と必要病床数推計

(1) 医療需要

泉州二次医療圏における平成37年(2025年)の医療需要は、平成25年度と比較すると、高度急性期機能で53人/日(7.7%)、急性期機能で426人/日(24%)、回復期機能で580人/日(32.6%)の増加、慢性期機能で706人/日(23.3%)の減少と見込まれています。

岸和田市においては、高度急性期機能で14人/日、急性期機能で113人/日、回復期機能で155人/日の増加、慢性期機能で188人/日減少すると見込まれています。

(2) 必要病床数

泉州二次医療圏における必要病床数の推計は、平成25年度と比較すると、高度急性期機能で70床(7.6%)、急性期機能で547床(24.1%)、回復期機能で644床(32.5%)の増加、慢性期機能で768床(23.3%)減少すると報告されています。

岸和田市においては、高度急性期機能で18床、急性期機能で145床、回復期機能で172床の増加、慢性期で204床の減少となっています。

なお、大阪府が策定した地域医療構想においては、すべての医療機能において7割以上が医療圏内で

満たされており、がん・脳卒中・急性心筋梗塞（虚血性心疾患）・糖尿病、救急医療、周産期医療、小児医療の医療需要については、医療圏内で概ね満たされているとされています。

（表6）平成37年（2025年）医療需要及び必要病床数の推計

泉州 二次 医療 圏			高度急性期	急性期	回復期	慢性期 [※]	合計
			(医療機関所在地)	(医療機関所在地)	(医療機関所在地)	(医療機関所在地)	
泉州 二次 医療 圏	医療需要 (人/日)	平成25年	692	1,772	1,781	3,027	7,272
		平成37年	745	2,198	2,361	2,321	7,625
	必要病床数 (床)	平成25年	923	2,271	1,979	3,291	8,464
		平成37年	993	2,818	2,623	2,523	8,957
岸 和 田 市	医療需要 (人/日)	平成25年	184	472	474	806	1,936
		平成37年	198	585	629	618	2,030
	必要病床数 (床)	平成25年	246	605	527	876	2,254
		平成37年	264	750	699	672	2,385

※慢性期医療需要、必要病床数は、パターン（特例）により算出している。

5. 病床機能報告制度の報告数と必要病床数の比較

平成26年に医療圏内の医療機関から報告された病床機能報告制度の報告数と平成37年（2025年）における必要病床数を比較すると、高度急性期機能で381床（62.3%）の不足、急性期機能で829床（22.7%）の過剰、回復期機能は1,688床（180.5%）の不足、慢性期機能は886床（26.0%）の過剰となっています。

今後も毎年行われる病床機能報告と平成37年（2025年）必要病床数との比較を注視しながら、泉州二次医療圏における本院の医療提供体制について検討していく必要があります。

（表7）平成26年度（2014年度）病床機能報告制度による機能別病床数と平成37年（2025年）必要病床数の比較

	年（年度）	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答	合計
		(医療機関所在地)	(医療機関所在地)	(医療機関所在地)	(医療機関所在地)		
泉州二次 医療圏	病床機能報告数（2014）a	612	3,647	935	3,409	39	8,642
	必要病床数（2025）b	993	2,818	2,623	2,523	—	8,957
	差引 c(a-b)	△ 381	829	△ 1,688	886	—	—

（注）1. 病床機能報告については、初年度（平成26年度）においては、他の医療機関の報告状況や地域医療構想及び同構想の病床の必要量（必要病床数）等の情報を踏まえていないことから、個別医療機関間、二次医療圏等の地域間、病床の機能区分ごと等の比較をする際には、十分に注意する必要がある。（厚生労働省地域医療構想策定ガイドライン）
2. 病床機能報告制度は大阪府全体で約6,000床（本構想区域では約520床）が未報告または無回答となっている点は留意